

栃の木からの手紙



3月11日午後に発生した東日本大地震では、MOA自然農法文化事業団の該当地区の多くの普及会も多大な被害に遭われた事と思います。この度の震災で亡くなられた方々のご冥福をお祈りし、被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。また、一日も早い復旧・復興を願っています。

木温（きおん・こはる）

昨年11月末に、立派に成長し沢山の落葉を散らした栃の木。

松岡氏の協力で剪定をしてもらいサッパリとしました。冬の最中には、流石（さすが）に寒そうでしたが、日差しに柔らかさを感じる様になると、木の温もりで幹の周囲の雪が融けて、雪の窪みが大きくなって来ています。

3日：新月

5日：清明 …万物が清々しく明るく美しい頃。感謝の集い

15日：土の日 会合

18日：満月 …3, 4日前は小麦追肥の適期

20日：穀雨 …雨が降って百穀を潤す

4月 卯月						
日	月	火	水	木	金	土
					1	2
3	4	5	6	7	8	9
10	11	12	13	14	15	16
17	18	19	20	21	22	23
24	25	26	27	28	29	30



栃の木の新芽

厳冬の時期、じっと寒さに耐えて春の到来を待ち望んでいる栃の木の新芽。ねっとりとした粘液に覆われて身を守っています。

大震災で被災された方々も、どうか、自然に生きる動植物の様に、厳しい時を耐え抜いて今まで以上に大きく花開いて頂きたいと願っています。そして、元気な地区は元気の無い地区をそれぞれに出来る方法で応援しましょう。

大震災の後、略奪や強盗が発生しない日本人の国民性に外国人は感心しているといえます。そんな中、義援金にかこつけたネット犯罪・振込詐欺が横行している様ですので注意・注意！

3月7日、美幌会の総会が開催されました。美幌町長土谷氏の挨拶の後、粛々と議事を進行し終了後は楽しい楽しい肉と魚の鍋を囲んで昼食となりました。参加者19名。昼食の準備をして頂いた皆様、ありがとうございました。

楽しい事の数日後、東日本を襲った大地震。震災で故障した福島原子力発電所の二次的被害は、献身的な作業員の努力も空しく広範囲に拡大しています。農産物を始め飲料水・海・田畑の放射能汚染。報道で出てくる“ベクレル”は放射能の強さの単位。

“シーベルト”は人間が放射線を浴びた時の影響度を示す単位です。別紙に日常生活と放射線の間隔をミリシーベルトで表しています。

1シーベルト=1,000ミリシーベルト=1,000,000マイクロシーベルト

放射能の半減期 放射性ヨウ素（約8日）・放射性セシウム（約30年）

